

町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字馬見原
2. 社名等 大日堂
3. 種別、祭神及び仏像名 大日如来像 外4体
4. 創建年代 享保15年
5. 形状 座像

(1) 全高	高	80 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	67 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	39 cm	巾	22 cm
(4) ひざ張り	高	10 cm	巾	25 cm
(5) 台座	高	14 cm	巾	13 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 享保15年戊7月(1730)。

祭礼 例年旧9月19日(普通中の九日)氏子相集 酒肴をつくり宴を行う。

由来 今より259年前この地の百姓50人が寄り牛馬の神様として祀り午前中は神様として午後は如来様との言い伝えがあり。昔は祭礼の日に牛馬良種が出産するよう百度詣りや奉納相撲が行われたという。現在祭礼日ににぎりめしが作られるのはその名残りであろうか。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字馬見原 岩尾野
2. 社名等 天満宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公
4. 創建年代
5. 形状 座像

(1) 全高	高	33 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	27 cm	巾	13 cm
(4) ひざ張り	高	6 cm	巾	15 cm
(5) 台座	高	7 cm	巾	7 cm
(6) 持もの	シャク			

現在の状況 ㊦ 良 可

その他参考事項

創建 不明であるが、以前は大日堂の石段の左側に安置されていたが昭和の代に移転、昭和56年に改造し現在に至っている。

祭礼 昔は旧暦3月21日であったが、現在新暦3月21日に行われ午前中は一般に接待、午後は農家のみで祭祀を行う。

その他 昔は、弘法大師は農作物の神様として周辺の農家の祖先が代々祭祀したもので現在も受継がれている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字馬見原 古町

2. 社 名 等 観音堂

3. 種別、祭神及び仏像名 百済観音像 外1体

4. 創建年代

5. 形 状

(1) 全 高	高	8 7 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	5 8 cm	巾	4 0 cm
(3) 足もと～頭長	高	4 2 cm	巾	1 9 cm
(4) ひざ張り	高	2 8 cm	巾	5 cm
(5) 台 座	高	2 9	巾	5 5
		3 3 cm		4 5 cm
		4 2		8
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 永録3年(1560)に新町上組の火伏地藏とが合祀されていたといわれる。

例祭 毎年2月17日と10月17日に組内一同相集い、龍泉寺住職に読経を観請し酒宴を催し功德に対し感謝の意を表している。

その他 現在お籠りをしようとの話しがもちあがっている。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字馬見原 古町
2. 社名等 恵比須堂
3. 種別、祭神及び仏像名 大國主命 外1体（事代主命）
4. 創建年代
5. 形状 座像

(1) 全高	高	25 cm	厚	16 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	55 cm	巾	18 cm
(5) 台座	高	15.5 cm	巾	3 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 (良) 可

その他参考事項

創建 不明なるも明治の初期に建立されたとき
られている。

例祭 毎年10月20日組内で祭礼を行っている。

その他 昔から商売の神として崇められ、10
月20日に商人の行事としてえびす講が
開かれていた。商売繁昌を祈り親戚、知
己、出入りの者を招いて宴をはる日とし
ていた。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字馬見原 新町上
2. 社名等 地藏堂
3. 種別、祭神及び仏像名 火伏地藏 外2体
4. 創建年代 永禄6年
5. 形状 立像

(1) 全高	高	1 3 8 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	1 1 5 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	2 9 3 8 cm	巾	1 7 1 2 cm
(6) 持もの	香炉			

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建 永禄6年(1563)

例祭 例年8月23日～24日(現在は第3日曜日)に行われ町内組内より伝統の家庭用器具等を材料とした時代を風刺した「造物」通しや花火大会などその他多彩な行事が繰り広げられる。

その他 現在の「青雲山龍泉寺」の寺内の観音堂に安置されていたものを当時大火があり、人馬建物の被害多く、有志相寄り再び大火のなきよう祈願し永禄6年(1563)に遷仏されたという。その後安政3～4年(1857)に大火により焼失、伝承として宇納間より又清和村緑川より招来したとの話ある。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字馬見原 中鶴 田町
2. 社名等 天満宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外1体
4. 創建年代 寛政11年
5. 形状 座像

(1) 全高	高	cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	28 cm	巾	14 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	15.5 cm
(5) 台座	〃	25 21 cm	巾	1.0 4.5 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 座像 寛政11年 田中八兵衛とあり。

他方には 明治12年 奉納 田中某とある。

例祭 例年3月25日に例祭が行われていたが、

現在は3月の第3日曜日に実施されている。

その他 由来については定かではない。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字滝上 須刈

2. 社名等 阿彌陀如来堂

3. 種別、祭神及び仏像名 阿彌陀如来像 外1体

4. 創建年代

5. 形状

(1) 全高	高	130 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	76 cm	巾	24 cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	〃	25 35 cm	巾	14 22 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建 会葉山青柳寺と呼称され、阿彌陀如来外数体が合祀され、寺内に元禄14年(1701)と刻まれた石灯籠、宝篋印塔の頭部二体が残されている。

例祭 不明

その他 由来については定かでない。



町内木造物調査

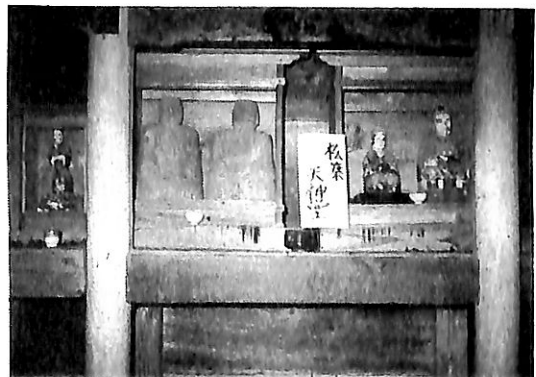
1. 場所 蘇陽町大字滝上 松葉
2. 社名等 天神堂
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外5体
4. 創建年代
5. 形状 座像

(1) 全高	高	35 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	5 cm	巾	17 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	2.5 5 cm	巾	18.5 20 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建、例祭等については明らかでない。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字滝上 竿渡

2. 社名等 薬師如来堂

3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像

4. 創建年代

5. 形状 座像

(1) 全高	高	6.5 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	4.8 cm	巾	2.5 cm
(4) ひざ張り	高	9 cm	巾	3.4 cm
(5) 台座	高	1.3 cm	巾	4.2 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 不明

例祭 特に定った日は設けてないが、盆や正月
に附近の人々が花を供え祀っている。

その他 不明



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長崎 加勢群
2. 社 名 等 観音堂
3. 種別、祭神及び仏像名 観音菩薩像 外2体
4. 創 建 年 代
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	1 0 0 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	7 5 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	5 4 cm	巾	2 0 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	1 3 3 5 cm	巾	1 6 3 0 cm
(6) 持 も の	蓮 華			

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 定かでない。

例祭 毎年9月17日部落民一同相集い酒肴を供え祭礼を行なう。

その他 由来等については定かでない。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字長崎 甲長崎

2. 社名等 天神堂

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外4体

4. 創建年代

5. 形状 座像

(1) 全高	高	37 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	27 cm	巾	13 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	7.5 ² cm	巾	32 ² 40 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建については定かでないが、節々には花、
香華等が供えられている。

例祭 毎年3月31日



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長崎 上長崎
2. 社 名 等 薬師堂
3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来 外15体
4. 創 建 年 代 天明3年
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	1 6 4 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	1 7 8 cm	巾	7 0 cm
(3) 足もと～頭長	高	1 3 2 cm	巾	3 0 cm
(4) ひざ張り	高	1 5 cm	巾	2 8 cm
(5) 台 座	高	1 4 cm	巾	5 0 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

当福寺薬師堂と呼ばれ、如来像の背側に天明3年（1783）と彫られており、明治23年（1870）に彩色されている。

五輪塔は系譜、経本が焼失したため（年代不明）供養のため建立されたものと伝えられている。

宝篋印塔二基があるが、鎌倉時代のものと推定されている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字長崎 下長崎
2. 社 名 等 三皇神社
3. 種別、祭神及び仏像名 金比羅大明神 外4体
4. 創 建 年 代 天文5年
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	1 0 0 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	3 6.5 cm	巾	8 cm
(3) 足もと～頭長	高	1 5.5 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	2 $\frac{1}{7}$ cm	巾	cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 天文5年（1537）と記してある面（2ヶ）が奉納されていることから350年以前と推定される。

祭礼 現在11月3日夜神楽を奉納。

由来 昔から農村には庚申の日（かのえ、さる）に夜明かして楽しむ信仰娯楽があった、宮崎県境にある此の地では、安政年間より「お日待の日」として盛大なお祭り行事が催されていたが一時中断され、最近復活されつつある。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字長崎 下長崎
2. 社名等 薬師堂
3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来 外4体
4. 創建年代
5. 形状 立像

(1) 全高	高	67 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	51 cm	巾	19 cm
(3) 足もと～頭長	高	37 cm	巾	12 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	4.5 9 cm	巾	19 22 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建 不明

例祭 毎年11月3日

※ 薬師如来は祀られてないが、地藏菩薩、不動明王、脇侍が安置してある。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字神之前 中鶴
2. 社 名 等 観 音 堂
3. 種別、祭神及び仏像名 十一面観音像 外6体
4. 創 建 年 代
5. 形 状

(1) 全 高	高	1 0 8 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	8 3 cm	巾	1 6 cm
(3) 足もと～頭長	高	6 5 cm	巾	2 1 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	1 0 1 5 cm	巾	2 3 3 6 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 老人の言によると明治以前とのことであるが定かではない。

祭例 毎年、春と終の彼岸の中日、組内全員で礼祭を催している。

その他 十一面観音外、馬頭観音、不動明王、子安観音が合祀されている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字神之前 山下
2. 社 名 等 山 神 堂
3. 種別、祭神及び仏像名 山の神 外1体
4. 創 建 年 代
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	2 3 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 3 cm	巾	1 6 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	1 6 cm
(5) 台 座	高	cm	巾	cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 不明

例祭 旧9月19日に組内(下組)で礼祭を行なう。

その他 農村の山の神は春は山から里に降り「田の神」となり秋にはふたたび山に帰って山の神になると云い伝えがある。そのようなことから村の中央に祀られていると推察される。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字白石 七ツ迫

2. 社 名 等 天 満 宮

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外2体

4. 創 建 年 代 享和2年

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 9 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	1 2 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3 4 cm	巾	1 7 cm
(4) ひざ張り	高	5. 5 cm	巾	1 6 cm
(5) 台 座	高	5 cm	巾	4 0 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 享和2年(1802)奉造者 阿蘇内牧古町とある。

例祭 春秋の彼岸の中日氏子集まり祭礼を行っている。

その他 合祀の観音像 天保12年(1841)
火伏地藏尊 文政11年(1828)別に猿田彦大明神の板碑に文久元年(1961)と記してある。



町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字白石
2. 社名等 観音堂
3. 種別、祭神及び仏像名 十一面観音像 外3体
4. 創建年代
5. 形状 立像

(1) 全高	高	58 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	40 cm	巾	10 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	5 4 cm 9	巾	14 7 cm 15
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建 古老の言によると、明治以前とあるが、定かでない。

例祭 旧暦の11月8日、組内全員で祭礼を行っている。

その他 別に祀ってあってある猿太彦大明神の石碑に文政7年(1825)と記されている。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字方ヶ野 上鶴

2. 社 名 等 菅原神社

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外4体

4. 創 建 年 代

5. 形 状 座 像

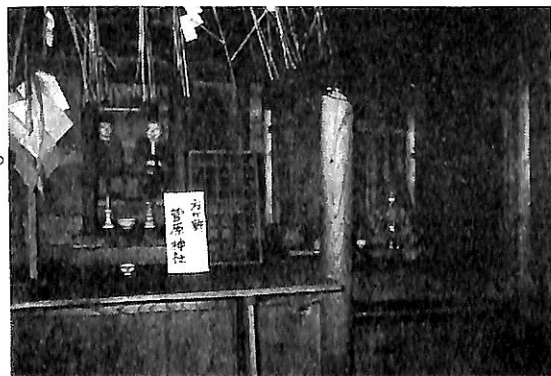
(1) 全 高	高	1 9 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	1 5 cm	巾	7 cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	2 cm	巾	8 cm
(5) 台 座	高	1 2 cm 1	巾	1 1.5 8 cm 1 1
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 不明なるも境内に桧の巨木、推定約350年とされることから天文年間ではと推定される。

例祭 11月14日、部落全員で祭礼を行なう。由来については不明。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柳井原 伊儀名
2. 社 名 等 火伏地藏堂
3. 種別、祭神及び仏像名 火伏地藏尊 外4体
4. 創 建 年 代 天保2年
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	5 1 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3 3 cm	巾	7 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	1 0 1 cm 1	巾	1 1 3.5 cm 2 0
(6) 持 も の	金剛杖			
現在の状況	優	⊕	可	

その他参考事項

創建 天保2年(1832)

例祭 秋分の日(9月23日)村人相集りて
祭礼を行っている。

由来については不明



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柳井原 伊儀名
2. 社 名 等 柳井原天神堂
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外4体
4. 創 建 年 代 天曆9年(1193)
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	30 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	23 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	23 cm	巾	12 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	15 cm
(5) 台 座	高	6 cm	巾	42 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

創建 天曆9年

例祭 9月25日に祭礼を行っている。

由来 不明



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字柳井原 村の前
2. 社 名 等 西向山安楽寺
3. 種別、祭神及び仏像名 薬師如来像 外6体
4. 創 建 年 代 明治44年(1912)
5. 形 状 立・座像

(1) 全 高	高	4 8 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	3 9 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3 2.5 cm	巾	1 4 cm
(4) ひざ張り	高	8 cm	巾	1 7 cm
(5) 台 座	高	9 cm	巾	2 5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

明治42年に佐藤宝作翁が、村の五穀豊穡と悪疫退散を希い、四国八十八ヶ所の仏像と三十三体の観音像を刻み、西向山安楽寺として安置したものであり、毎年春の彼岸の中日に祭例が行なわれている。

特に注目し値するに「野外演劇場」があった。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字滝上 土戸
2. 社 名 等 火伏地藏堂
3. 種別、祭神及び仏像名 火伏地藏像
4. 創 建 年 代 慶長14年
5. 形 状 立 像

(1) 全 高	高	3 5 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	1 9 cm	巾	1 2 cm
(4) ひざ張り	高	3. 5 cm	巾	1 7 cm
(5) 台 座	高	1 5 cm	巾	2 0 cm
(6) 持 も の	団 扇			

現在の状況 優 ◎ 可

その他参考事項

土戸山円福寺と呼称、薬師如来、弘法大師を
合祀してある。

棟礼 九州肥後国阿蘇郡土戸山円福寺

御本尊建立の折南無薬師如来御宝前
古蔵源作

慶長14年(1609)?とある。



町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字塩原 黒原
2. 社 名 等 天 満 宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外5体
4. 創 建 年 代 不 明
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 3 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 7.5 cm	巾	1 2 cm
(4) ひざ張り	高	5 cm	巾	1 4.5 cm
(5) 台 座	高	4.5 cm	巾	2 4.5 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 不明

祭礼 毎年3月春分の日 黒原地区住民全員集

いで祭礼を行っている。

由来 については不明である。

